

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

第50回真室川梅まつりに参加しました。

【5月3日（水）】真室川公園で開催された第50回真室川梅まつりに参加しました。

前日までの天候がうそであるかの様に梅まつり当日は快晴で、風を心地よく感じられる日であったことや、今年はコロナ禍による移動制限もなく、梅の里マラソンが4年ぶりに開催されることもあって、早朝より大勢の人たちが訪れていました。

山形森林管理署最上支署も梅まつり会場の一角をお借りして、巣箱づくり体験コーナーを設置し、国有林が行っている仕事を紹介するパンフレットを展示しました。

マラソン大会や飲食ブースに来客が集中するのではと心配していましたが、マラソン大会終了とともに大人から子供まで多数の方々が巣箱づくり体験コーナーに押し寄せました。

「これ作ってみたい」、「いいよ」の二つ返事で皆様巣箱作りを熱心に取り組み、開始当初の心配をよそに、30セットほど準備した巣箱キットも、まつり終了の一時間前に無くなるほどの盛況ぶりでした。

最上支署が今年も行った巣箱づくり体験コーナーは、リピーターの方も中々に多い様で、「今年作った巣箱にも野鳥が入ってくれるかな?」と言った声もちらほらと。

こういった取組をとおして、地域の人たちが自然環境や木材利用に関心を持ってもらえるよう、今後も地域のイベントに積極的に参画していきます。

親子で巣箱作り・職員もお手伝い



森林づくり推進功労者に林野庁長官からの感謝状です。

【5月15日（月）】山形森林管理署最上支署で林野庁長官の感謝状贈呈式を行いました。

このたびの表彰は、国有林野における国民の森林づくりの推進に功労あった者に対して感謝の意を表すもので、森林づくり及び森林環境保護に功労があった者として、「甌山探究会」が受賞し、山形森林管理署最上支署にて感謝状贈呈式を執り行いました。

「甌山探究会」は、結成より28年間にわたり、地域の自然豊かな森林を中心に活動をされている団体で、地域の将来を担う子供たちとの森林のふれあい、郷土愛などの人格形成などを目的とされ、その取組と功績は顕著なものであるとともに、地域行政などと連携した森林教育活動は、地元地域の新たな観光として将来にわたり継続・発展させることができると期待され、そういった取組が評価されたところです。

功績もさることながら、毎年異なるメニューの体験活動は、参加者の方々からも大変好評のようで、実際に参加した最上支署職員の評価も上々で、「楽しい」とのこと。

地域の方々にも自然環境や林業に関心を持ってもらえるよう山形森林管理署最上支署は、こういった取組を支援しつつ参画して参ります。

贈呈された感謝状です



山形森林管理署 最上支署

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706



国民の森林・国有林